

保護者の方にも呼びかけて人権集会をしたよ！

13日(木) ステップアップタイムから5時間目にかけて、5, 6年生の人権購買委員会が中心となって、人権集会を行いました。

今年度の人権集会は、「学校の人権教育についてもっと知りたい」という学校評価アンケートにおいての保護者の方からのご意見により、人権の授業参観以外にも子どもたちが主体となって人権教育(学習)に生き生きと取り組んでいる姿を見て頂くという趣旨で、保護者の皆様に参観を呼びかけました。急なご案内にも関わりませず、ご参観くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。

人権集会は、次のような3つのめあてをもって取り組んでいます。

- ①人権かるた取りをかがやき班で行うことにより、協力し、助け合っかるたを取る楽しさを味わうことができる。
- ②人権かるたには、さまざまな人権課題についての内容が描かれ、それらの人権課題の解決をめざしてつくられたことがわかることができる。
- ③自分なりに大切にしたい札について考えることができる。

まず、全員で歌「ともだちは いいもんだ」の手話をしました。「手話」の意味について、人権購買委員から説明があり、よくわかりました。事前に、それぞれの学級で毎朝練習していたので、みんな上手にできていました。

次に、かがやき班ごとに分かれ、「ジャンボ人権カルタ取り」を行いました。それぞれの班の仲間が、上学年と下学年のペアとなって、みんなで協力し、助け合いながらかるた取りを楽しんでいる姿がありました。

続いて、自分の好きなかるたについて人権購買委員が発表しました。一人ひとり思い思いにお気に入りのかるたを発表し、みんなでかるたに込められた意味について考えることができました。

今回の人権集会では、かがやき班の仲間と一緒に活動しながら、「仲間の大切さ」はもちろんのこと、「仲間と一緒に活動する楽しさ」や「助け合うことのすばらしさ」など、たくさんのことを学びました。子どもたち一人ひとりには、これからの毎日の生活の中で、生かして行って欲しいと思います。



【全員で歌「ともだちは いいもんだ」の手話の様子】



【かがやき班の仲間とペアになって、ジャンボ人権カルタ取りの様子】



【かるたを数えている様子】



【自分の好きなかるたについての発表の様子】

